

9.1 環境報告書の評価



山口県農業協同組合中央会
専務理事 大橋 世紀

■ 第三者有識者のコメント

山口大学とJAグループ山口は、山口県における農業・関連産業の振興、継続的な地域社会の発展、人材育成に寄与することを目的として、「産学共創・連携に関する協定」を締結し、様々な可能性を模索しているところです。

農業は、気候変動による自然災害の頻発・激甚化等の影響を大きく受ける産業であることから、環境への配慮・SDGsへの貢献等に向けた取組みは、重要な課題であると認識しております。

このような中、貴学では学生の皆様や、大学生協とも連携しながら、温室効果ガスの排出量を既に基準年比較で23.5%削減されたこと、リサイクル弁当箱の回収率が拡大したこと等、まさに「協同の力」で環境負荷低減に向けた取組みを実践されていることが伺えました。

この結果が、THE大学インパクトランキングでの評価での高い評価に繋がっており、我々としても大いに見習うべきであると感じております。

また、令和3年度に設立されたグリーン社会推進研究会は、「協同の力」で持続可能な社会の実現を目指すものであり、山口県の農業・地域を未来につないでいくために、今最も必要な取組みであると感じております。

JAグループ山口も参画をさせて頂いておりますが、今後の活動や、研究から創出される革新的な技術に大いに期待をしております。

JAグループ山口では、かけがえのない山口県の農業・地域を未来へとつないでいくため、農業やJA事業を通じてSDGsに貢献する「県消県産」を推進していくこととしております。

そのためには、地域の多様な組織との連携を今まで以上に強化するとともに、多くの県民の皆様のご理解・ご協力を頂くことが必要となります。今後も貴学の最先端の知見やご支援等を頂きながら、この取組みを進め、共に未来の山口県を創り上げていければと考えております。

「JAグループ山口2024中期基本方針」



<http://www.ja-yamaguchi.jp/content/files/tyuoukai/2024kihonhoushin.pdf>

JAグループ山口様と山口大学のつながり



<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/news/10530/index.html>





環境マネジメント対策推進会議において策
定された「環境目標」の実施状況を次のとおり
報告します。

表4-1 環境目標と実施状況

基本方針	分類 [SDGs指標]	担当	中期目標	環境目標	実施状況	関連ページ
事業活動における環境負荷の低減	温室効果ガス排出抑制 [SDG 7.9.11.12.13]	全校	2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減を目指す	エネルギーの消費量を対前年度比及び5年間平均原単位変化1%以上の低減に努める 電気需要平準化評価を対前年度比及び5年間平均原単位変化1%以上の低減に努める 温室効果ガス排出量を対前年度比及び5年間平均原単位変化1%以上の低減に努める	省エネ改修、節電実行計画の推進、エネルギー使用量管理の徹底などを実施しました。 中期目標 環境目標 エネルギー消費原単位 5年間平均で0.9%減 対前年度比2.8%増 電気需要平準化評価原単位 5年間平均で0.9%減 対前年度比2.9%増 温室効果ガス排出量原単位 5年間平均で6.7%減 対前年度比2.0%減 温室効果ガス排出量2013年度比23.5%減	P9
	水資源の有効活用 [SDG 6.12]	全校	水使用量の削減に努める	節水の推進	節水機器更新、水量調整、使用量管理の徹底、雨水再利用、弁戸水有効活用を実施しました。 使用量前年度比1.3%増（屋外漏水あり）	P12
	グリーン契約 [SDG 9.12]	全校 財務部 施設環境部	グリーン契約の推進に努める	グリーン調達比率100% 環境配慮契約の普及	グリーン調達比率100%を達成しました。 環境配慮契約とエシカル消費を実施しました。	P11、13 P14、16
	森林保護 [SDG 12.13.15]	全校	紙使用の減量化に努める	紙使用量の削減とリサイクルの推進	両面印刷やNアップ印刷、電子情報による管理、用紙・封筒の再利用、PCによる電子会議、事務手続きの無紙化・電子化、古紙リサイクルの取り組みを実施しました。	P13、14
	廃棄物の抑制 [SDG 3.6.11.12.13.14.15]	全校	廃棄物の減量化に努める	廃棄物の削減とリサイクルの推進	紙類購入量前年度比30.4%減 印刷複合機出力枚数前年度比4.2%減 ゴミの分別収集の徹底、数量把握と減量化、食品ロス削減・フードバンク支援、実験計画見直し、化学物質使用量の削減、有機溶媒再利用、落葉等の堆肥リサイクルの取り組みを実施しました。 一般廃棄物量前年度比2.2%減 産業廃棄物量前年度比40.8%増 廃液処分量前年度比5.0%増	P14~16
環境貢献技術の創出	環境に関する研究 [SDG 1~17]	学部等	地球環境にやさしい研究開発の推進	省資源・省エネルギー、地球環境保全等に繋がる研究開発の推進	地球温暖化に対する緩和策、気候変動への適応性、環境保全、生物多様性の保全、生物資源の持続可能な利用などの研究の促進を行いました。	P17~24
環境モラルの醸成	環境教育（環境基礎、環境教育カリキュラムの充実） [SDG 4.13]	学生支援部 学部等	学生への環境教育の徹底	実験排水の適正な処理の徹底 教育・研究等による環境マインドの向上	環境対策に関する教育、環境保全及び安全教育、実験排水や廃液処理について、Web講習会等を活用して、教育の普及推進に取り組みました。	P15 P25~28
	環境美化 [SDG 6.12.13.14.15]	学部等 学生支援部 施設環境部	環境美化運動の促進	職員への省エネ意識の啓発	環境対策に関する情報の提供（ホームページ）、省エネ啓発通知（メール）、ポスター掲載、巡視などの取り組みを実施しました。	P13、15 P27、28
	地域との連携 [SDG 4.10.13.17]	学部等 総務企画部 学生支援部 施設環境部	関係者に対する環境情報の提供	各種媒体を通じた環境情報の発信	環境情報の発信、社会連携講座・公開講座やセミナーの開催、環境配慮活動の広報活動などの取り組みを実施しました。	P29~32
法規制の遵守	職員・学生の自主活動による社会、環境貢献 [SDG 13.14.15]	学部等 総務企画部 学生支援部 施設環境部	地域貢献活動の推進	職員・学生の自主活動による環境貢献	地域クリーン作戦（年2回）、クールチョイス、CO ₂ 削減市民運動の取り組みに参加しました。	P27、29
	化学物質の管理水質汚濁防止 [SDG 3.6.12.13.14.15]	学部等 安全衛生 対策室 施設環境部	グリーンケミストリーの推進 化学物質の適正管理の徹底	化学薬品等の使用量の削減 化学物質取扱者への教育・訓練の徹底	実験計画の検討及び見直し、化学物質使用量の削減、有機溶媒の再利用などの取り組みを実施しました。 廃液処分量前年度比5.0%増 環境保全と安全教育、廃液処理教育などの取り組みを実施しました。	P6、15 P28 P6、15 P28
	大気汚染防止 [SDG 3.6.12.13.14.15]	学部等	フロン漏洩防止、大気排出基準の遵守	フロン排出抑制法に関する第一種特定製品（業務用空調機器、業務用冷蔵庫等）の適正管理 自家発電装置等の大気排出基準による適正管理	フロン排出量は、適正な維持管理により、報告対象値未満となりました。 ばい煙排出量は、適正な運転及び維持管理を行い、排出基準値以下となりました。	P5
	産業廃棄物の処理 [SDG 3.6.11.12.13.14.15]	学部等 財務部 施設環境部	産業廃棄物の適正な管理と処理	産業廃棄物の適正な管理と処理	産業廃棄物マニフェストの適正な管理と処理を実施しました。	P5 P14~16
環境マネジメントシステムの整備・充実	環境配慮の取り組みのための管理体制 [SDG 11.13.17]	全校	管理体制による適正な活動	管理体制による適正な活動	環境マネジメント体制の円滑な運用及び環境目標や行動計画の履行、組織内への数値目標・実績等の周知・確認を実施しました。 環境マネジメント対策推進会議：年5回開催 環境マネジメント対策部会：年3回開催	P2~4

